

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について
(2026年10月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2026年10月に適用する1㎡当たりの単位料金を、2026年9月検針分に適用の料金に比べ10.24円(消費税込)上方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前までの3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2026年10月検針分の単位料金は、2026年5月から2026年7月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に30㎡(45MJ/㎡)のガスをお使いになる標準家庭で、2026年9月検針分に比較して、308円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表 (消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金	単位料金 (円/㎡)		基準単位料金
		2026年10月適用	2026年10月適用 単位料金(円/㎡)	2026年9月適用 単位料金(円/㎡)	(円/㎡)
料金表A	0㎡から20㎡まで	1,200	208.88	198.64	207.84
料金表B	20㎡をこえ50㎡まで	1,715	183.10	172.86	182.06
料金表C	50㎡をこえ200㎡まで	2,018	177.05	166.81	176.01
料金表D	200㎡をこえ450㎡まで	3,600	169.14	158.90	168.10
料金表E	450㎡をこえ750㎡まで	5,787	164.28	154.04	163.24
料金表F	750㎡をこえるもの	11,232	157.02	146.78	155.98

※2026年10月適用単位料金は1㎡につき税込14.0円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は経済産業省の「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>)

標準家庭における影響 (消費税込)

1か月のご使用量	2026年10月検針分の料金	2026年9月検針分の料金	影 響 額
30㎡ (45MJ/㎡)	7,208円	6,900円	308円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	85,290 円/t
2026年5月～2026年7月の 平均原料価格 (b)	102,400 円/t
LNG価格	100,400 円/t
LPG価格	124,870 円/t
差 額 (b－a)	17,110 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(85,290円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.088円(0.080円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	100,400 円/t	×	0.9501
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	124,870 円/t	×	0.0561
			102,395.247 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			102,400 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 85,290円/tからの変動額)

$$102,400 \text{ 円/t} - 85,290 \text{ 円/t} = 17,110 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$17,100 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 17,100 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.088 = 15.048 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$15.04 \text{ 円}$$

政府支援 1m³あたり -14.0円を反映 = **1.04 円**